

# 2024年3月期 第1四半期決算

2023年7月28日

 大同特殊鋼株式会社 (5471)

# ■ 23年第1四半期決算の概要

- ▶ 鋼材売上数量は減少するも、販売価格の改善に取り組み売上高は増加。
- ▶ ステンレス鋼の在庫調整継続などにより、営業利益は減益。
- ▶ 今期の業績予想に対しては、概ね計画通りに進捗。

	2022年度実績 第1四半期	2023年度実績 第1四半期	(千t・億円) 前年 同期差
鋼材売上数量	280	266	-14
売上高	1,377	1,419	42
営業利益	102	80	-22
経常利益	113	97	-16
特別損益	-	-	-
法人税他	▲ 14	▲ 34	-20
親会社株主に帰属する 当期純利益	99	63	-36

# ■ セグメント別売上高・営業利益（前年差）

(億円)

	2022年度実績		2023年度実績	
	第1四半期		第1四半期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
特殊鋼鋼材	506	1	553	28
機能材料・ 磁性材料	544	75	513	33
自動車部品・ 産業機械部品	238	18	241	5
エンジニアリング	38	▲ 1	50	5
流通・サービス	51	9	62	9
合計	1,377	102	1,419	80

前年度差	
売上高	営業利益
47	27
-31	-42
3	-13
12	6
11	0
42	-22

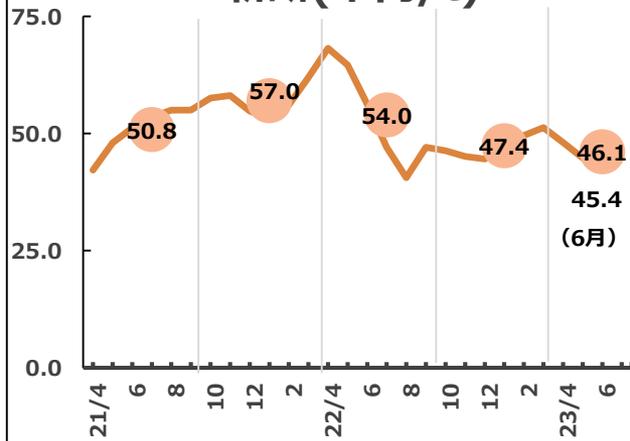
(千t)

鋼材売上数量 (単体)	280	266
----------------	-----	-----

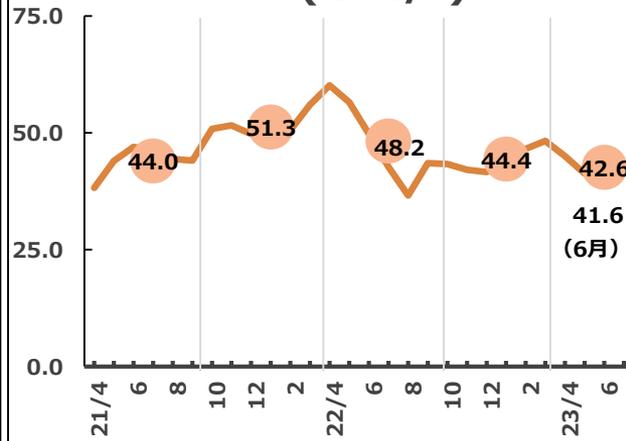
-14
-----

# 原材料価格

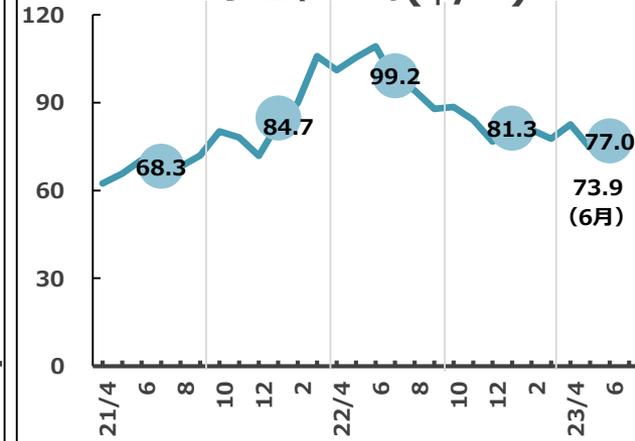
## 新断(千円/t)



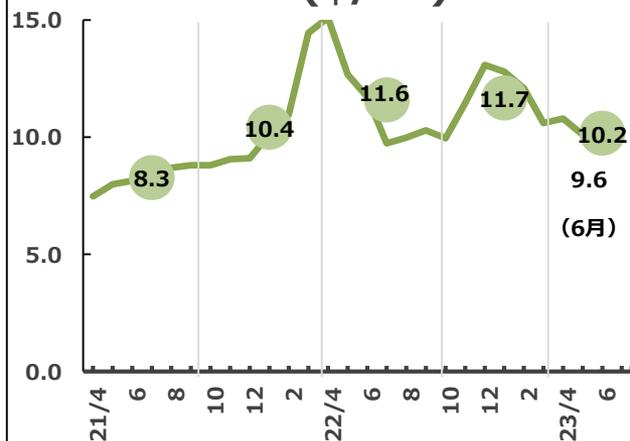
## H2(千円/t)



## 原油トハイ(\$/B)



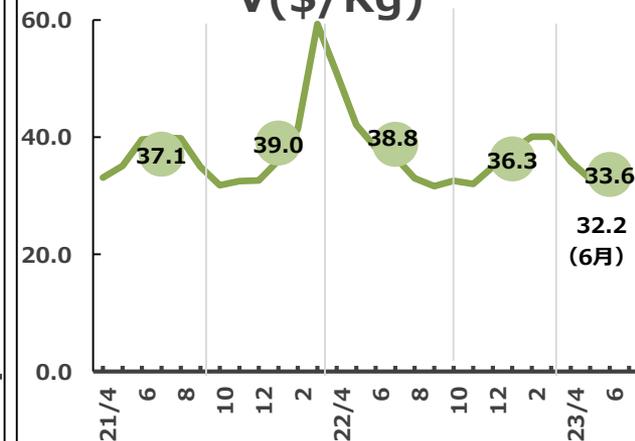
## NI(\$/Lb)



## Mo(\$/Lb)



## V(\$/Kg)



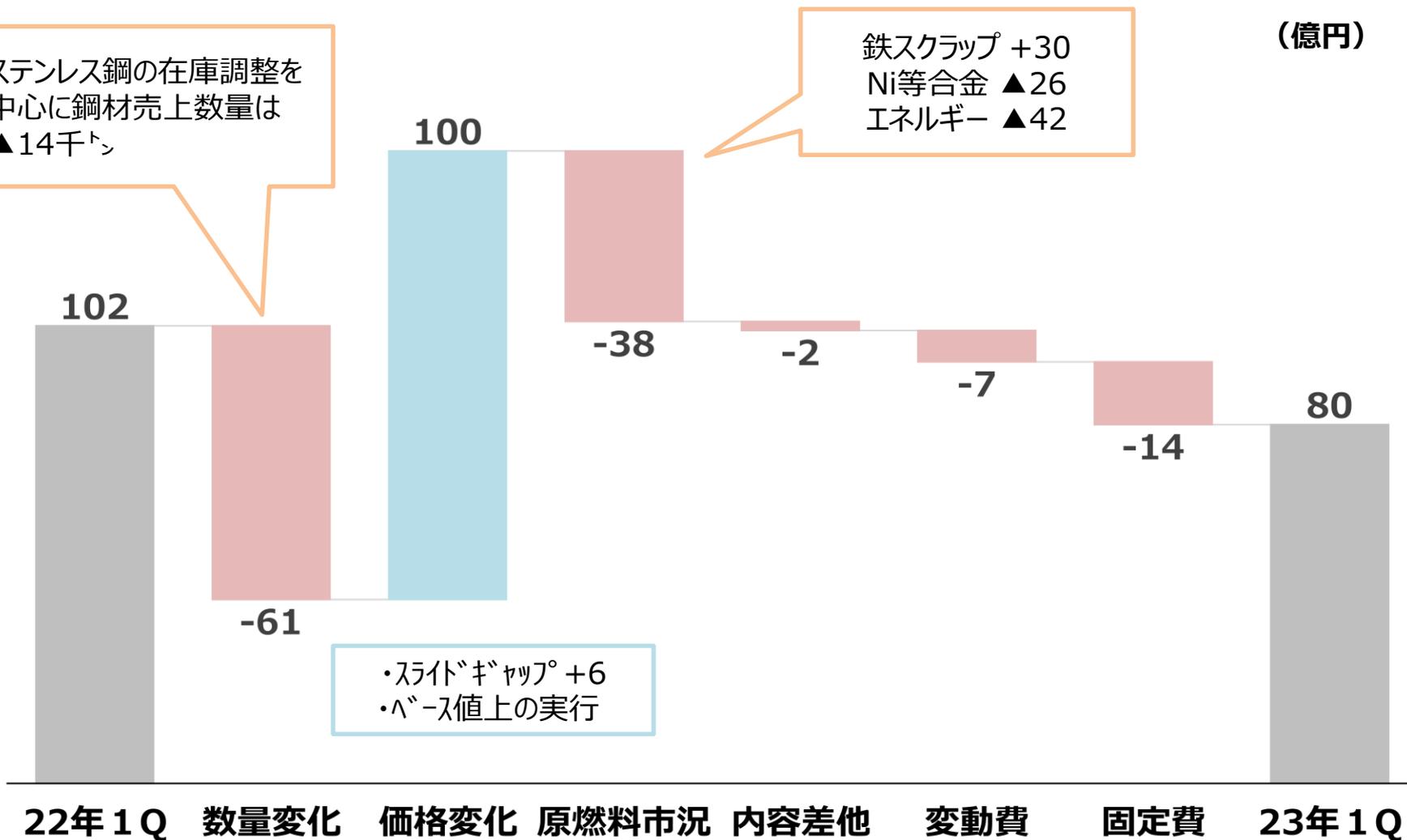
# 23年第1四半期 営業利益の変化要因（前年差）

(億円)

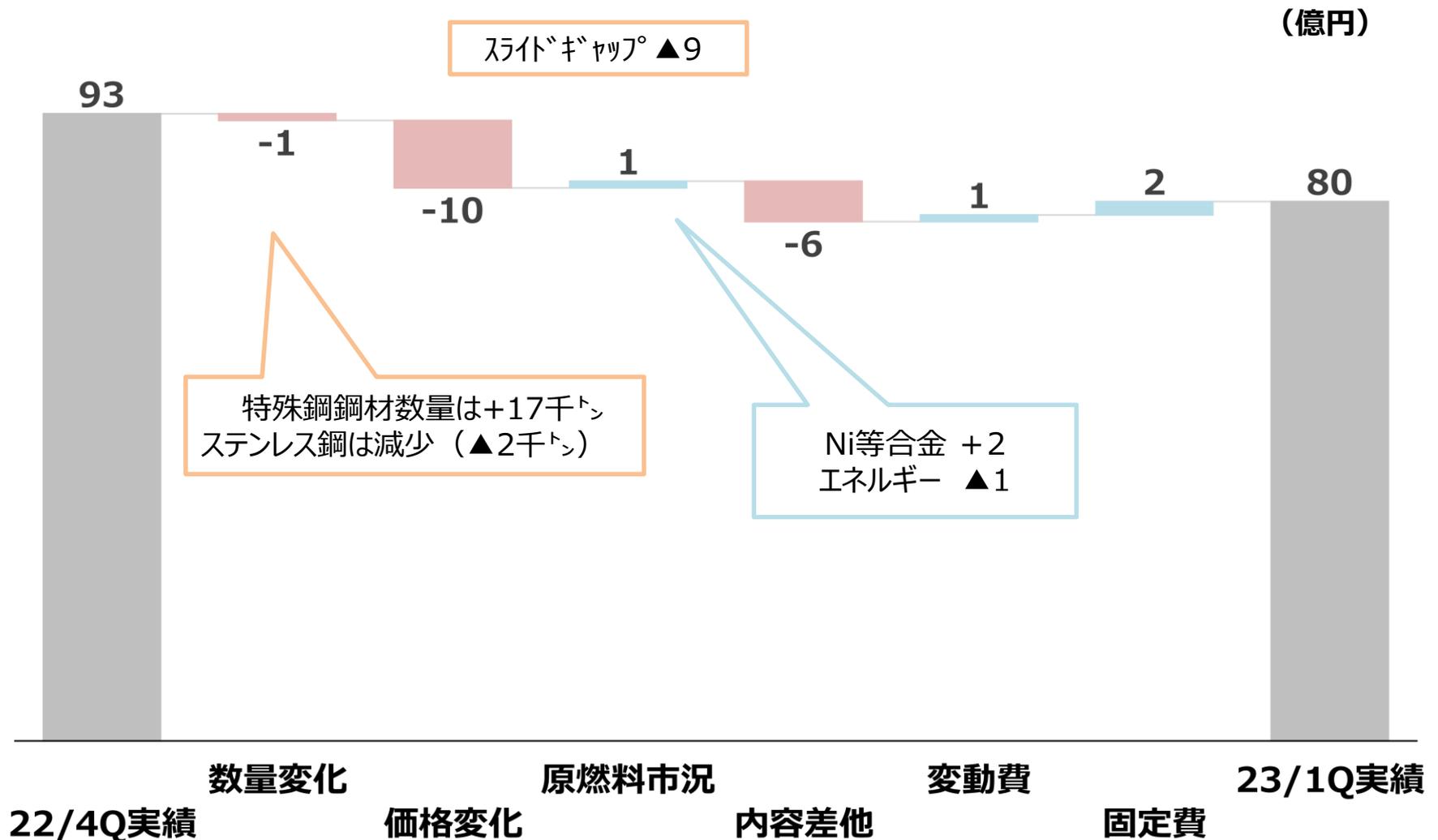
ステンレス鋼の在庫調整を  
中心に鋼材売上数量は  
▲14千トン

鉄スクラップ +30  
Ni等合金 ▲26  
エネルギー ▲42

・スライドギャップ +6  
・ベース値上の実行

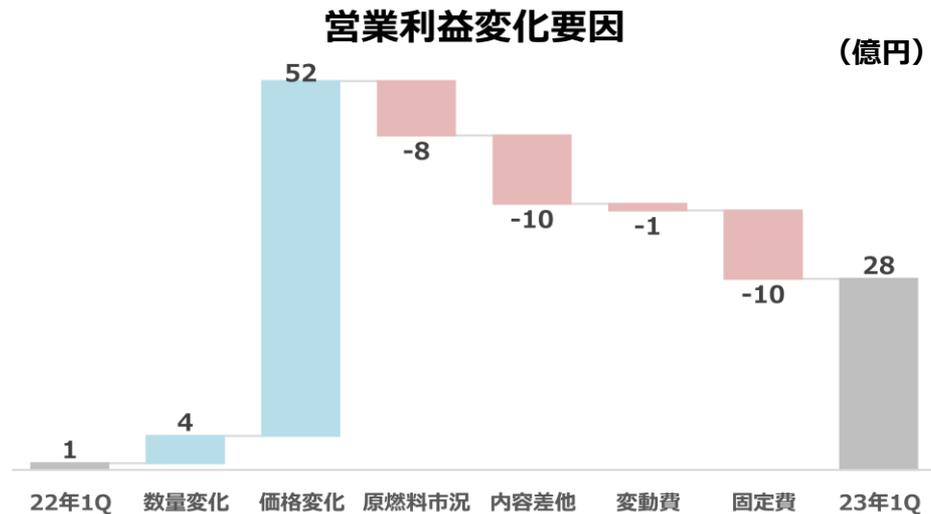


# 23年第1四半期 営業利益の変化要因（前四半期差）

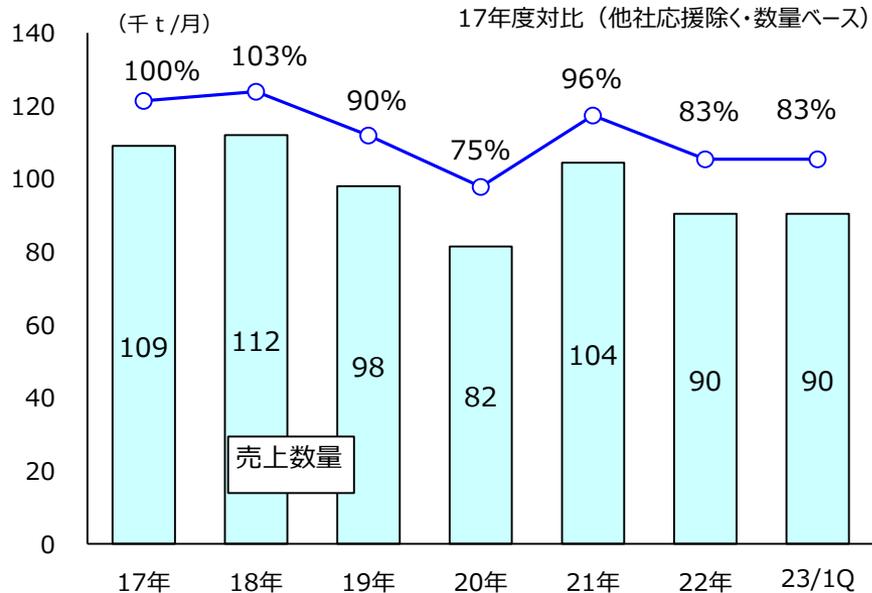


# ■ 特殊鋼鋼材概況

	(億円)		
	22年 1Q	23年 1Q	前年差
	a	b	b-a
売上高	506	553	47
営業利益	1	28	27
スライドギャップ	-7	-1	6



## 鋼材売上数量(単体)



## POINT 1

自動車関連の受注は、半導体を中心とした部品の供給不足が緩和されてきたことにより増加。

## POINT 2

電力などのエネルギーコスト上昇に対し、販売価格への反映を進めたことで、適正マージンを確保。

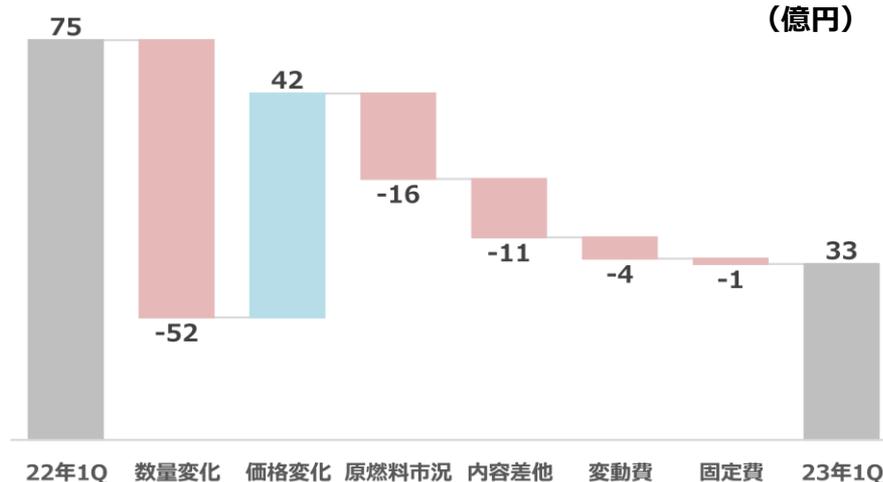
# 機能材料・磁性材料概況

(億円)

	22年 1Q a	23年 1Q b	前年差 b-a
売上高	544	513	-31
営業利益	75	33	-42

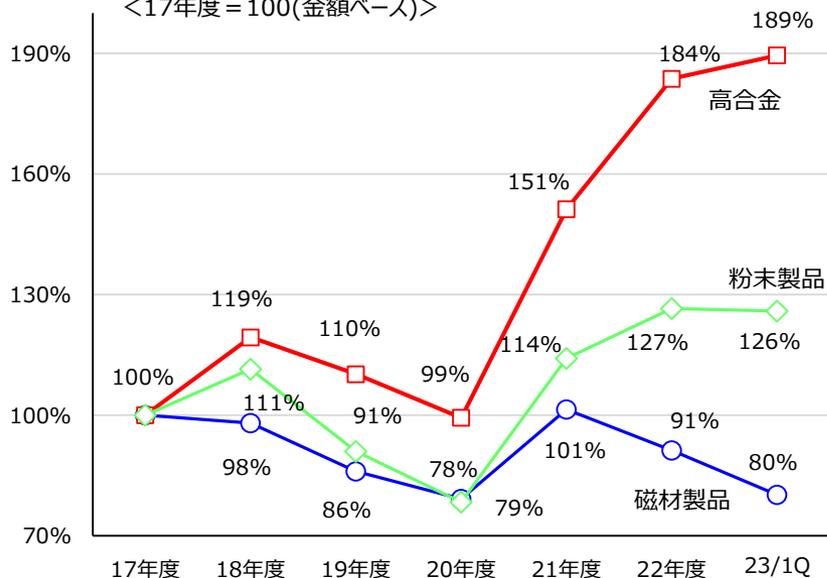
## 営業利益変化要因

(億円)



## <高合金・磁材製品・粉末製品 (売上高)>

<17年度 = 100(金額ベース)>



## POINT 1

ステンレス鋼はサプライチェーンにおける在庫調整が継続しており、出荷数量は減少。  
営業利益は33億円となった。

## POINT 2

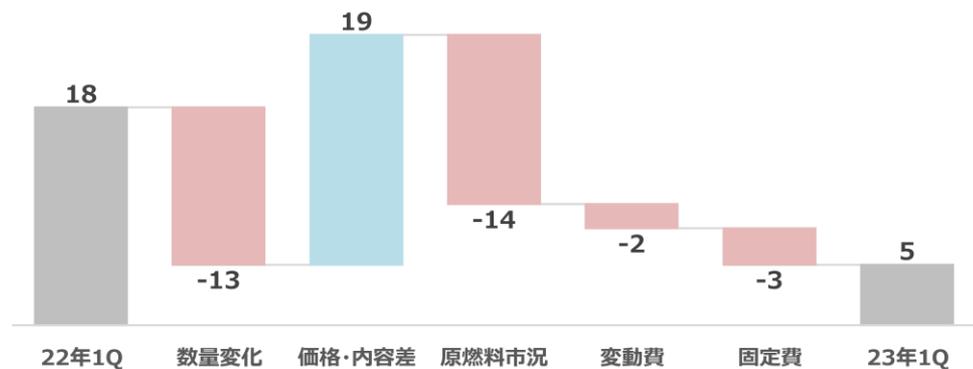
ステンレス鋼の在庫調整は、上期まで継続するものの下期以降は実需見合いの出荷量となり増加する見通し。

# 自動車部品・産業機械部品概況

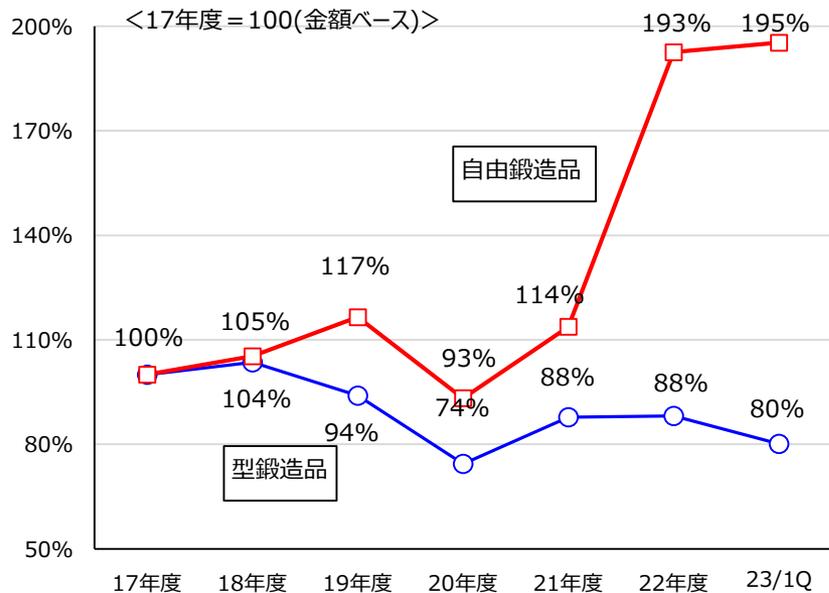
(億円)

	22年 1Q	23年 1Q	前年差
	a	b	b-a
売上高	238	241	3
営業利益	18	5	-13

## 営業利益変化要因 (億円)



## <型鍛造品・自由鍛造品 (売上高)>



## POINT 1

精密鋳造品の需要減少、型鍛造品の出荷が減少したことなどにより、営業利益は5億円。

利益進捗率は想定を若干下回ったものの、第2四半期では改善される見込み。

## POINT 2

自由鍛造品は航空機需要、重電および掘削品の需要が堅調。受注レベルは高位を継続。

## (注記)

本資料に記述されております業績見通し等の数値につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいております。

今後発生する状況の変化によっては異なる業績結果となることも予想されますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えて頂きますようお願いいたします。

また今後予告なしに予想数字が変更されることがあります。本資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、各自の判断と責任において使用されるものであり、本資料にある情報の使用による結果について、弊社は何らの責任を負うものではありませんのでご了承ください。